

●舞踊家名鑑 vol. 21 (宮城県白石市)
若柳梅京 (わかやぎ ばいきょう)



今年【仙台演舞】
東北舞踊フェスティバルで初舞台披露された



大学の授業(津波被災大はオジ
ライムの中で発表はし、宮城日本舞
踊社で大学での演舞も)



本年2月まで活発だったインバウンドの体験の一瞬



ライフワークの一つになっている、白石
市内の全小学4年生の体験授業風景

日本舞踊 2020年9月号 日本舞踊社発行

宮城県白石市在住の、若柳梅京さんの登場です。現在、直派若柳流 宮城支部長、(公社)日本舞踊協会宮城県支部役員、(公社)宮城県芸術協会 理事、東北福祉大学 特任教授、白石市歴史文化アドバイザーなどと様々な役職を務めている働き者の現況は…。

梅京 昨年九月に第十回リサイタル「若柳梅京華舞台」を終え、本年十一月八日に四年に一度の大ざらいを仙台市で開催する予定でしたが、コロナ禍のため、来年四月後半に延期いたしました。

今年の五月からは東北福祉大学の特任教授となりましたが、すべてオンラインとなりました。受持ち学生が二五〇名以上と多く、双方向が不可能なため、毎週の動画作成と全員のレポートチェックに追われる日々です。

能楽堂の子供日本舞踊講座は二か月遅れでようやく開講となりました。十七年目を迎える白石市内の全小学四年生への体験授業はライフワークの一つですが、予定通り今年も秋に十回以上開催する予定で、子供たちに会おうのを楽しみにしているとこです。

若柳梅京さん(麻生菜穂美さん国大11卒)の記事が掲載されています。